

宮城県美術館の集約移転の方針を撤回してください



宮城県知事 村井 嘉浩 様

宮城県美術館を含む県有施設の集約移転の方針の撤回を求めます

2019年11月、宮城県美術館の集約移転案が、宮城県から突然発表されました。まちづくり、美術、建築、決定プロセスなど、さまざまな観点からみて問題が多く、県内外から集約移転を疑問視する声が上がっています。豊かな自然に囲まれた立地と堅固な地盤、巨匠・前川國男の設計による建築、そして約40年に渡ってこの場所で育まれてきた芸術文化。移転すれば、こうした文化的な蓄積は断ち切られてしまいます。

震災にも耐えた強固な建物は、適切な維持管理を行えば、今後50年は持つ、と専門家は話します。改修は集約移転より経済的でもあるのです。しかし、県は県内外の声を無視し、検討経緯の説明や十分な議論がないまま、県民説明会の前に結論を出そうとしています。私たちは、宮城県に対し、ただちに宮城県美術館の移転集約案の撤回を求めます。

令和 年 月 日

氏名	住所

●呼びかけ人 宮城県美術館の現地存続を求める県民ネットワーク

共同代表／石川善美 野家啓一 西大立目祥子 早坂貞彦

事務局／982-0801 仙台市太白区八木山本町 1-38-3 電話 090-7664-1147

●いただいた署名は、宮城県へ提出する以外の目的には使用いたしません。

FAX・メールでの提出はできません。郵送か持参でお願いします
ウェブ署名との重複はできません。どちらかのみでお願いします
ウェブサイト <https://www.save-mmoa.org/> →QRコード→



- 2020年2月提出の署名とは内容が違っているので、前回書いた方も署名可能です。
- この用紙はモノクロコピーしてお使いいただけます。どんどん拡散お願いします。